

公益社団法人

# 日本眼鏡技術者協会 会報

No. 139

2012年(平成24年)秋号 9月発行



編集/発行 公益社団法人 日本眼鏡技術者協会

発行人 津田節哉 編集人 吉野勝

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-6  
TEL 06-4807-5070 FAX 06-4807-5009

URL <http://www.megane-joa.or.jp/>

E-Mail [joa@maple.ocn.ne.jp](mailto:joa@maple.ocn.ne.jp)

無断転載・転用・複製を禁じます

議事報告(第2回通常総会) .....	2
福田名誉会長お別れの会 .....	4
眼鏡技術者国家資格推進機構について .....	5
information .....	6
議事報告(理事会) .....	7
technological lecture .....	8
眼鏡学校生の研究発表 .....	11
支部訪問(岐阜県支部) .....	12
国際部報告 .....	13
認定講習会のお知らせ①② .....	14



写真: 立体の紙細工  
鶴田晴彦さん(大阪支部会員)の作品  
タイトル/隠者の像

---

JOAのテーマ 眼鏡学の確立はJOA

---

## 第2回通常総会

日時／平成24年6月20日(水) 午後2時～4時  
 場所／新大阪ワシントンホテルプラザ(大阪)  
 出席／社員(代議員)104人中、出席56人、委任状提出41人

### 任期満了に伴う役員改選で津田会長を再選

#### 推進機構のロードマップについても説明

#### 平成23年度事業報告(議案1)

各会議の開催状況、各部の事業活動について資料を読み上げて説明。また、会員数については、6,689名(平成24年3月31日現在)と報告。

#### 平成23年度収支決算(議案2)

資料を基に収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表などについて詳細に説明した。監査報告を含め1、2号議案を一括上程し審議、拍手で承認。(質疑応答は右記)

#### 平成24年度事業計画(議案3)

資料を基に詳細に説明。

#### 平成24年度収支予算(議案4)

前期繰越収支差額を平成23年度決算確定値に修正したことをはじめ詳細を説明。3、4号議案を一括上程し承認。

#### 理事・監事選任(議案5)

任期満了に伴う改選では選挙管理委員会によりあらかじめ書面による投票が行われ開票済みで、その結果について報告した。

新役員はただちに別室で理事会を開催し、津田会長を再選した。(初理事会報告、各役職は3ページ参照)

**質疑応答**(カッコ内は回答)／①未収金が昨年比大幅に減少している理由(日本オプトメトリック協会所属の認定眼鏡士は同協会で更新料等を一括納入することとなり、現時点では入金済み。昨年比での減少はこの対象者が少ないため)②事業報告の消費者対策の3件の回答を紹介してほしい(消費者対策委員長より説明)③23年度製作のリーフレットの作り直しはあるのか(24年度予算で作り直す予定)④法制化の進捗状況を説明してほしい(眼鏡技術者国家資格推進機構が発行した会報を配布するのでご覧いただきたい。ロードマップも記されており、これから着実に進めていく)⑤収支予算書の23年度会費の見込み額の根拠について(これまでの実績値)

#### 通常総会冒頭の会長あいさつ

認定眼鏡士の国家資格化については、推進機構を中心にロードマップに従い着実に進めていくことになる。ご理解とご協力を願う。

また、公益社団法人に対する内閣府の指導の1つに、「女性の役員を2020年までに30%程度になるように期待する」との目標が示されており、女性の理事を増やしていく必要があるが、現時点の代議員は99%が男性であり、その中から女性の理事を選任することは物理的に無理がある。しかし、内閣府の指導に基づき、女性の意見を反映する手だてを考えていく必要がある。そのために、協会の中に、「女性部」を新



設したい。併せて「青年部」も新設し、若い人たちが女性の意見を技術者協会の運営に反映させていくこととしたい。これは、社会的な要請でもあると考えている。

本日は、平成23年度の事業報告、収支決算および24年度の事業計画、収支予算の承認に加えて、任期満了に伴う理事・監事の選任という重要な議案があり、慎重審議を願う。

## 24、25 年度 理事・監事の紹介

理事 25 名、監事 2 名

アイウエオ順、敬称略



津田節哉会長



片山敬三副会長  
兼会員組織部長



金井昭雄副会長  
兼国際部長



木方伸一郎副会長  
兼教育部長



辻戦三副会長  
兼広報部長



豊福厚至副会長  
兼総務部長



中島能澄副会長  
兼財務部長

### ●理事（眼鏡専門学校）

岡本育三（東京眼鏡専門学校 理事長）

金子 弘（新任、  
ワールドオプティカルカレッジ 学校長）

亀井正美（新任、  
近江時計眼鏡宝飾専門学校 講師）

関 真司（新任、キクチ眼鏡専門学校 学校長）

辻 一央（新任、日本眼鏡技術専門学校 学校長）

### ●理事（会員）

相澤博彦（**法制部長**、東北ブロック長、宮城県）

片岡幹雄（北陸ブロック長、石川県）

片山敬三（東京ブロック長、東京都）

金井昭雄（北海道ブロック、北海道）

木方伸一郎（東海ブロック、岐阜県）

清水信弘（新任、九州ブロック、佐賀県）

鈴木利夫（近畿ブロック長、京都府）

竹田保世（四国ブロック、徳島県）

田部健二（新任、四国ブロック長代行、愛媛県）

辻 戦三（中国ブロック長、岡山県）

**津田節哉**（推薦、愛知県）

豊福厚至（関東ブロック長、千葉県）

中島能澄（近畿ブロック、大阪府）

中村實男（関東ブロック、神奈川県）

西田芳夫（北陸ブロック、福井県）

野口 毅（新任、**社会福祉部長**、九州ブロック、  
福岡県）

羽田和弘（東北ブロック、青森県）

平岩幸一（東海ブロック長、愛知県）

山崎親一（東京ブロック、東京都）

横山武志（中国ブロック、島根県）

### ●監事

岡野雄次（公認会計士）

佐藤良治（北海道ブロック長、北海道）

総会当日同所、別室で開催

## 初理事会

司会者が会長・副会長候補者名を読み上げる  
ことについて同意を求めたところ異議なく、司会者  
は津田節哉理事を会長に互選したいとして承認を  
求め、出席者全員一致で承認。

次に、副会長、部長を互選したいとして、副会  
長・部長兼任候補者6名、部長候補者2名の名前  
を読み上げた。出席者全員一致でこれを承認した。

## 訃報

白山晰也氏（当協会顧問、元副会長）が、7月22日午前10時10分、急逝されました。74歳でした。白山氏は、昭和63年から副会長を1期、平成2年から理事を1期、平成8年からは顧問に就任。当協会や業界の発展ご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。

## 福田名誉会長お別れの会

5月4日、福田吉弘名誉会長が逝去されました。福田氏は、昭和41年に理事、同61年会長、平成12年からは名誉会長に就任。法制化への活動など、理事時代を含めると45年の長きにわたり当協会ならびに眼鏡業界の発展に大きく貢献をされました。

総会終了後、別室でお別れの会（当協会主催、大阪府支部、大阪眼鏡専門小売協同組合、日本眼鏡技術専門学校協賛）が執り行われました。当協会会員



以外の方も大勢訪れ、献花しご冥福をお祈りしました。

会では、津田会長、辻日本眼鏡技術専門学校校長に続いて、長男の福田吉美さんがお礼の言葉とともに「眼鏡技術者の法制化に大きな一歩を踏み出したことは父への最善の供養だと思う」とあいさつを述べました。

## 感謝状贈呈と講演会

永年、理事・支部長として活躍され、退任された堀内賢治氏（前副会長、前愛媛県支部長）、故西田康輔氏（前理事）、田辺隆雄氏（前理事、元鹿児島県支部長）、故田中義晴氏（前香川県支部長）に感謝状を贈呈。

当日ご出席いただいた堀内賢治氏、田辺隆雄氏、故西田康輔氏（西田豊氏ご出席）に津田会長から感謝状ならびに記念品が贈られました。

また、午後4時からは同所で講演会も行われ、眼鏡学校卒業生による研究が披露されました。



奥 翔太朗さん 日本眼鏡技術専門学校 卒業  
（代理講演者 吉野勝同校講師）  
「レンズ後面における紫外線反射」  
（内容の概略は138号の12ページ）



山内朋子さん ワールドオプティカルカレッジ 卒業  
「測定法の違いによる調節ラグの比較」  
（内容の概略は11ページ）

# 眼鏡技術者国家資格推進機構について

2012年3月29日現在

眼鏡技術者国家資格推進機構（以下、推進機構）は、眼鏡技術者の国家資格制度確立への実務を行うため昨年10月に設立されました。推進機構では、同機構の目標や計画を知ってもらうため、議員立法の準備、また各委員会の活動スケジュールをまとめたロードマップを作成。4つの委員会を立ち上げ、活動する方針です。

\*詳細は、同封の「眼鏡技術者国家資格推進機構 NEWS」をご覧ください。



## ●役員

顧問=大頭仁、加藤真代

代表幹事=白山晰也

代表幹事代行=岡本育三、津田節哉

副代表幹事=相澤博彦、風早昭正、金井昭雄、  
黒田一郎、多根弘師、森一成、和久山孝

会計幹事=馬場康男

幹事=荒木康弘、板垣雅直、白井信一、下條三千夫、菅野年央、蕭四川、竹内良造、田中登志子、坪内登、中込米男、根岸亨、平岩幸一、藪下守

監事=西村輝和、矢野博久

## ●構成委員会

資格対策委員会、広報委員会、組織拡大委員会、経理財務委員会

## ●推進機構に関わる業界団体

日本医用光学機器工業会、全日本眼鏡工業連合会、日本眼鏡販売店連合会、日本眼鏡卸組合連合会、(協)輸入眼鏡協会、(公社)日本眼鏡技術者協会、眼鏡公正取引協議会、(社)福井県眼鏡協会

## ●ホームページ

<http://www.megane-license.org/>

## 「両眼視視機能検査士」と名乗り高額商品を販売

「両眼視視機能検査士」と名乗る眼鏡販売業者から、高額なメガネを売りつけられる被害が発生したと、消費生活センターから連絡がありました。同じ方法は、ほかの地域でも確認されています。同一人物かどうかは現在調査中ですが、今回が初めての事例ではないため注意が必要だと思われます。

これまで「両眼視視機能検査士」という資格が存在するのかわきというお問い合わせもありましたが、眼鏡業界内には「両眼視視機能検査士」という公的資格は存在しません。もし今後、この「両眼視視機能検査士」を名乗る眼鏡販売業者のチラシが配布されたり、見かけられて不審に思われた場合は、当協会事務局までご連絡ください。

## 認定眼鏡士の有効期限が 2013 年の方、ご確認を！

できるだけ今年（2012年）の11月末までに必要回数の3回を受講してください。11月末までに3回の受講を満了した方には、12月に更新料の払込票を送付します。来年2月末までに更新料をお払いいただければ、新しい登録証を3月31日までに発行・お届けできます。

受講回数不足、更新料の未入金などで更新完了が遅くなりますと、認定眼鏡士の有効期限を過ぎてからの更新、認定証の発行になりますので、ご注意ください。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

## S 級から SS 級への進級特例措置は来年 3 月まで！

現在 S 級の方が、生涯教育、実技講習、通信講座、認定講習を3回受講することによって、SS 級に進級（進級は2013年4月から）することができる特例措置は、2013年3月31日までとなっています。この3回の受講は、更新に必要な受講回数としてもカウントされます。S 級の方はお早めに受講を！



■節電のため、7月から9月6日まで、水曜日と日曜日・祝日を事務局の休業日とさせていただきます。ご不便をお掛けし申し訳ありませんでした。

9月7日以降は、通常の業務日に戻ります。ご協力、ありがとうございました。

■ご住所、勤務先などの変更がありましたら、必ず下記事務局までお知らせください。

大阪市淀川区宮原1-2-6 新大阪橋本ビル9F 〒532-0003  
☎ 06 - 4807 - 5070 FAX 06 - 4807 - 5009  
✉ joa@maple.ocn.ne.jp

## 理事会

日時／平成24年5月9日(水)午後2時～4時  
 場所／ニューオーサカホテル(大阪)  
 出席／理事23人中、出席17人、欠席6人。  
 監事2人中、出席2人。

### 理事選出は投票により実施

#### 第2回通常総会について(議案1)

①第2回通常総会の案内書、議題の内容、講演会②平成23年度事業③平成23年度収支決算(監査報告含む)。3議案とも承認。

意見など:(意見)「公益社団法人の役員に女性がいらないのはいかがなものか。少なくとも数名の理事を確保できないか。政府の方でも3割ぐらいの女性の参画を推進している」「先ずは、10月のメガネの日に各支部で女性の参画を目指してはどうか」(回答)今すぐには難しいと思うが、比較的若い理事を中心に意見を集約してもらい、青年部・女性部をできるだけ早く組織して育てていくことが効果的ではないか。④平成24年度事業計画⑤平成24年度収支予算は、前期繰越金額は3月7日の理事会の時点では見通し額を記載していたが、23年度決算が確定したので、確定値である31,590,300円に訂正。支出明細書の中の社会福祉事業費について。積算内訳の国内外福祉事業団への助成1,000,000円は誤記につき200,000円に訂正。社会福祉事業の積算内訳の「海外眼鏡処方支援費」を適語標記に改めて「海外眼鏡教育事業支援費」に訂正。④⑤とも拍手で承認。⑥理事・監事選任については、1.理事・監事の候補者名簿に基づき理事会として推薦すること、2.選任方法として事前の書類による投票を実施すると説明し、承認された。

### 推進機構の活動についても報告

#### 眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について(議案2)

岡本理事(眼鏡技術者国家資格推進機構代表幹事代行)より、3月8日に民主党本部ならびに厚生労働省に対して要請書を提出したこと、その後の幹事会で推進機構としてのロードマップを作成、公表したことを報告。配布資料に基づきロードマップについて詳細に説明した。

意見など:(意見)広報活動として消費者向けのパンフレットを作成いただきたい。また、内閣府の消費者委員会と消費者庁に対して、3月8日に提出されたものと同じ要請書を早急に提出していただきたい。(意見)各地域の技術者には、以前の資格問題の残像が残っている。「消費者のための資格」であることを大いにPRしていかなければならない。(意見)同時に、各支部においてもよく説明していく必要がある。そのためには、事務局から資料を支部に送付してほしい。(回答)ロードマップにその説明資料を付けて、支部長宛てに送付したい。(意見)資格問題について一般の眼鏡技術者は関心が低いと思う。動きを広く内容を公開して、より多くの技術者に関心を持ってもらえるように努力してほしい。(回答)ロードマップ等、推進機構の動きを会報にも掲載し広報に努めたい。

#### その他

今後の会議日程を確認

## メガネの掛け心地を追求する④

# technological lecture

日本眼鏡技術専門学校 講師 吉野勝

メガネを顔に掛けるために、先人たちはどのように工夫を凝らしてきたのでしょうか。メガネの歴史は、固定方法の歴史といえるほどなのです。

両眼用のメガネは13世紀頃のヨーロッパで発明されました。それまでのメガネはいつてみれば、現在の単眼用のルーペ(拡大鏡)でした。

水晶などのレンズ状のものを単眼の拡大鏡として用いることは紀元前から行われていたようですが、その後、ふちにレンズをはめ込み柄つきの単眼拡大鏡に姿が変わり、これは長い歴史がありました。

この単眼用のルーペを二つ、柄のところにリベットを打って固定して両眼用としたものが「リベット眼鏡」です。

この「単眼」から「両眼」へというのは、革新的な発明品ではないかと思うのです。なぜなら、リベット眼鏡の出現が、メガネによる両眼視の始まりであり、また「手」以外の手段によるメガネの保持の第一歩となったからです。

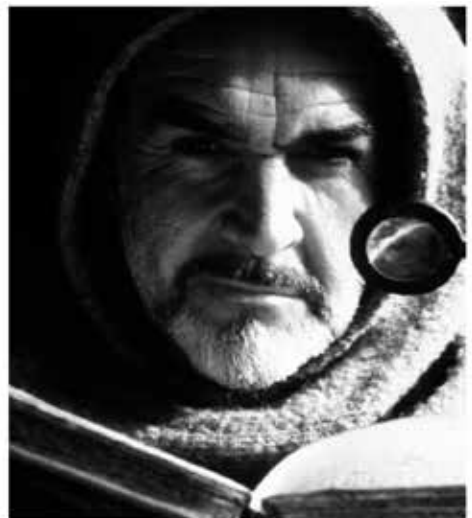
ショーン・コネリー主演、中世ヨーロッパの修道院での事件を描いたサスペンス映画「薔薇(ばら)の名前」では、このリベット眼鏡がたいへん特徴的に使われていて、「ああ、こんな風に使っていたんだな」ということがよくわかります。

鼻に挟むのかと思っていたのですが、映画では手に持って使っています。写真では片眼しか見えていませんがまさに両眼のリベット眼鏡で、ほかの修道士たちが「両目の虫メガネ」と呼んでいました。

両眼用になると、いよいよこれをどうにかして手を使わずに保持したいと思うようになるのは時間の問題であり、当然リベット眼鏡も、ヨーロッパの人にとって、「鼻に挟んで」使われるようになるのです。



図・写真 17



図・写真 18





図・写真 19

やがて眼鏡保持に「耳」を使うことを思いつきます。  
鎖（くさり）付き眼鏡は、一端に錘（おもり）のついた鎖をメガネに取り付け、この鎖を耳に掛け、錘が重力で垂れ下がる張力を鎖によってメガネに伝え、メガネが鼻やひたいに押し当てられて固定されるという仕組みです。

これは現在一般的に使用されているツル付き眼鏡の装用の理論に、非常に似通っているのがおもしろいところです。どういことかといいますと、それまでしていた「鼻」そのものへの固定をあきらめて、メガネを後ろに引っ張ることで顔に固定する方法へと、転換してきているということです。

当時の文章によりますと、「これによって鼻が圧迫から解放された」というようなことが書かれていることからわかります。

もちろん、メガネに紐を取り付けて、その紐を耳に引っかけるという、そのものずばりの方法が一般的になったのもこの頃、すなわち日本にメガネが伝来した 16 世紀頃の話です。



図・写真 20

## technological lecture

しかし、快適な眼鏡装用には、さらにもう一つの画期的な発明を待たねばなりませんでした。

それは「鼻あて」の発明です。

メガネを鼻や額に押し当てて保持する方法は、顔の造形が彫りの深い人種であれば問題が少ないのですが、鼻が低く相対的に目が突出している人種では、目がレンズに当たってしまうということになります。

このために眼鏡枠のブリッジ部分に可動式の「足」、今でいう鼻パッドを取り付けてこれを眉間に押し当てることで、いわゆる頂点間距離を作り出しました。

ちなみにこの発明は、日本で行われたというのが定説となっています。

こうして、「耳と鼻で固定する」現代の眼鏡装用の基礎へと結びついてゆくのです。



図・写真 21

ところが日本の、特に女性には紐付き眼鏡が不評でした。それは女性の日本髪の「鬢（びん）」が、紐のじゃまになることでした。

こうしてできたのが「頭痛おさえ眼鏡」です。

こめかみを押さえる構造のフレームにより、日本髪を崩さずにメガネが装用でき、戦前あたりまで好



図・写真 22

んで使う女性があったということです。現在でも女性の髪型によっては、テンプルが差し込みにくい場合もあり、現代に甦ってもいい商品なのかなと思います。

その現代式の「耳掛けテンプル眼鏡」は18世紀末頃のイギリスで誕生しました。

## technological lecture

### 教育部

今年度の生涯教育も約半分の会場で終了しました。

もう受講されましたでしょうか。

会場へ足を運べないようでしたら通信講座をどうぞご利用ください。

担当する講師の方々は、毎年生涯教育がスタートする前に集まり、講義内容の統一、詳しく講義する部分やテキストの文章のチェックなどを行っています。

6月21日、当協会本部事務所で今年も実施され、より分かりやすい講義になるよう、新しいテキストを手にとりそれぞれ意見を出し合いました。

24年度の生涯教育は、「オートレフの正しい利用法と雲霧の大切さ」(90分)、「気づく力を高める眼鏡技術者のための眼科学『眼の加齢変化と眼疾患』」(60分)、「枠入り眼鏡レンズの許容誤差」(30分)となっています。

また、実技講習は「検査の結果思わぬ値がでたら」(野矢正講師)、「累進屈折力レンズ『屈折補正を見直して、快適な度数調整のポイントをつかもう』」ーバージョンアップ版ー(内田豪講師)、「両眼視下での屈折測定とその応用」(省スペース型視力表と自動型レフラクターの活用ポイント)(同)、「斜位の各種検査法」(近藤正徳講師)、「メガネ店でできるビジョントレーニング」(同)となっています。詳しくは、6月初めにお届けした教育特集号をご覧ください。

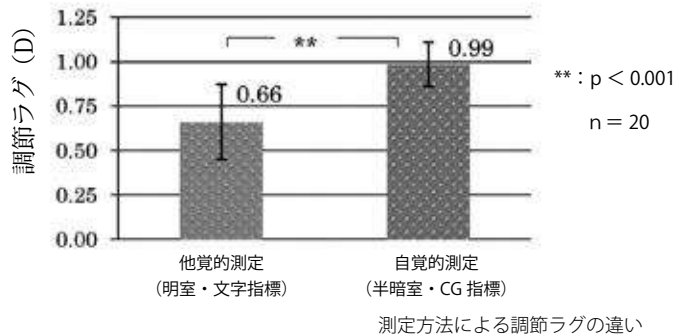


# 眼鏡学校生の研究発表

当協会では、眼鏡技術の調査・研究事業の一環として、眼鏡学校生への研究助成を行っています。これは、優秀な眼鏡技術者の育成にも繋がるもので、卒業論文などを選考し、各校から優秀者を選出しています。23年度の研究発表の概要を、前号に続きご紹介いたします。なお、紙面の関係上、内容は抜粋、表や実験結果は一部のみの掲載です。

専門学校  
ワールド オプティカル カレッジ  
山内朋子さん

## 測定法の違いによる 調節ラグの比較



「調節ラグとは、調節刺激量とそれに対する調節反応量の差である。その値は、遠見補正した眼が近見視標を見た時の屈折値を、レチノスコープや両眼開放オートレフを用いて他覚的に測定することにより求められる。一方、眼鏡店で行う調節ラグの測定は、クロスシリンダー（以下CC）とクロスグリッド視標（以下CG）を用いた自覚的測定が多い。昨今、調節ラグが大きいと近視の進行が起りやすいのではないかとわれ、さらに近視の進行抑制に累進屈折力レンズの効果が認められたことから、その効果を予測するうえで、より正確な調節ラグの測定が必要となっている。そこで、他覚的に測定した調節ラグと自覚的に測定したそれを比較し、測定法の違いによる結果の違いを探るとともに、各測定値の信頼性を検討した」と緒言を述べている。

次に、比較方法について「調節ラグを他覚的および自覚的に測定し、両者を比較した。被験者は、加入度数の必要のない19～29歳の10名(20眼)である」とし、それぞれの測定方法を説明。

その結果および標準偏差、次に他覚的測定および自覚的測定について図に表し説明している。さらに、視標の違いについて、文字視標およびCG視標を用いて他覚的測定を行ったときの調節ラグ

を図に示し、結果について述べている。

考按として「他覚的および自覚的な方法を用いて調節ラグを測定したところ、半暗室でCG視標を用いて行う自覚的測定のほうが、明所で文字視標を用いる他覚的測定より約0.33D高くなり、測定法により結果に違いがでることがわかった。

「今回、10名すべての被験者で、自覚的な調節ラグが他覚的なそれを上回った」とし、具体的に数値を上げ、理由について明さと視標の違いの観点から考察。次に、文字視標とCG視標の違いを比較した上で、「このような2つの理由から、CG視標を用いて半暗室の環境下で行う自覚的測定の方が、大きな調節ラグを生じたと考えられる」としている。

最後に「調節ラグを他覚と自覚の2つの方法で測定したところ、他覚的には0.66Dで一般に考えられている値とよく一致したが、自覚的な結果はそれより有意に高い値を示した(p < 0.001)。また、低照度のほうが、調節ラグは有意に高くなった。視標の違いでは、クロスグリッド視標は文字視標より有意に高い値を示した。調節ラグの測定にあたっては、文字視標を用いた他覚的測定の方が、明所でも半暗室でも安定した結果を示すと思われる」と結論付けている。

## 支部活動 訪問

### 岐阜県支部

岐阜県支部では、4日の午後、長良川河畔のホテルパークで生涯教育を開催。今回は、今年度の生涯教育がスタートした直後ということもあり、通信講座用のビデオ撮りも行われました。

当日は、福井県からの受講者もおおり、参加者は79人で女性の姿が目立ちました。また、昨年公益法人となったことを記念して、マーカーペン（昨年は定規）が受講者に配布されました。

講義は、まず「オートレフの正しい利用法と雲霧の大切さ」を内田豪講師、「気づく力を高める眼鏡技術者のための眼科学『眼の加齢変化と眼疾患』」を山城浩哉講師、「枠入り眼鏡レンズの許容誤差」を林光久講師が担当、皆さん熱心に聴き入っていました。

支部の会員数は200人で、講習の前には支部総会も開かれました。事業報告では、眼鏡技術者国家資格推進機構の発足にふれ、「できる限りバックアップしたい。ただ、一番大事なのは本来の我々自身の勉学を通して資質の向上を図り、それをお客様にサービスすることが基本」と伝えるとともに、技術の研さんや知識の習得の重要性も再確認していただいたということです。

堀江晃支部長は、「県内のほかの団体と近い関係を保っています。例えば、岐阜県眼鏡商業協同組合が主催する講習会は、認定講習会となっています。今年度は6回実施予定で、受講のチャンスは多いですね。課題は、会員数の減少、今年の本部の総会で話の出た女性役員の登用などですね」と話されています。



①



②



③



④



⑤

- ①堀江支部長
- ②受講者にマーカーを配布
- ③大勢が参加した生涯教育
- ④今回は通信講座用の撮影も
- ⑤会場の前は長良川河畔

WCO (World Council of Optometry: 国際オプトメトリー協議会) の Advancing Optometry World wide (世界のオプトメトリーの発展) についての会議が、アメリカ・シカゴで6月24日から3日間行われました。シカゴは、アメリカ中西部のイリノイ州にあり、街の東側ではアメリカ5大湖のひとつである Lake Michigan が広がる中西部最大の都市です。今世界のオプトメトリーの発展やこの会議についての報告は、我々が今国内で取り組んでいる法制化運動に何かの参考になるのではないかと考えています。

個人的なことですが、シカゴは1979年にパシフィック大学オプトメトリー校を卒業後、より臨床経験を積むためICOでResidency(研修生)を1年間行った思い出のある町です。ここでの貴重な臨床経験なしでは、今の自分はなかったと思っていますので、30年ぶりにICOを再訪した時は感無量でした。

世界の異なった環境で活躍するビジョンケアの専門家から、オプトメトリー発展の現状を学ぶには、この会議がよい機会でした。広範囲におよぶオプトメトリー分野において、会議で設定された講演や実習を通して学ぶことが可能でした。さらに、ポスターセッションも行われ、世界各国から32のポスター発表がありました。3日間の会議中、ゆとりあるコーヒープレイクの時間がとられ、講演以外にポスターを読みながらポスター提示者と意見交換や名刺交換ができたことは有意義でした。

20カ国から約124人が参加した会議は、有名なルート66の高速道路の出発点になるグランドパークに隣接するRenaissance Blackstoneホテルで開催されました。会議初日は、WCO会長のMs.Tone Garaas-Maurdalen(ノルウエー)、AOA(アメリカオプトメトリー協会)会長Dr.Dori Carlson、そして次期WCO会長Dr.Susan Coopern(カナダ)があいさつしました。オプトメトリーが発展段階にある国から南アフリカのKevin Naidoo教授の講演、そしてオプトメトリーが発展した国から米国のDr.Peter Kehoeの講演があり、その後、懇親会のカクテルパーティーで初日を終了しました。

2日目の午前は、「糖尿病への対処」、「新しいオプトメトリープログラムの発展の支持」、「視覚と加齢」。2日目の午後は、会場をICO(Illinois College of Optometry: アメリカで最も古いオプトメトリー大学)に移して、前房隅角鏡検査、眼底細隙灯顕微鏡検査、両眼眼底鏡検査の技術修得のため4人で1グループの体験実習組と「神経学疾患における視野問題」についての講演聴講組とに分かれて行われました。

3日目の午前は、グループに分かれて「オプトメトリー法制化に関する運動事例」や「開放隅角緑内障」についてや「インターネットを利用したオプトメトリー教育」などの講義が行われました。3日目午後は、WCOがWHO(世界保健機構)と伴に推進しているVision2020運動において「オプトメトリーがどのように失明防止に関与するか」についての講義が行われ、最後に英国のDr.Robert Chappellによって「WCO Global Competency Model: 世界的技能を示すためのモデル」について講義後、WCO会長のあいさつで閉幕しました。



小グループに分かれて実施されたICOでの実習風景

# 認定講習会のお知らせ①

## リードエグジビジョンジャパン・福井県眼鏡協会主催「IOFT講習会」

※このほかの IOFT 講習会を受講されても、認定眼鏡士 更新・進級のための単位にはなりません。

- 日時・会場 2012年 10月22～24日 (IOFT開催期間中)、東京ビッグサイト
- 主催 リードエグジビジョンジャパン(株) / (社)福井県眼鏡協会
- 講習1 「メガネ店で今すぐできる子どものビジョントレーニング」  
日時 / 10月22日(月) 午前10時30分～正午(90分)  
講師 / 内藤貴雄氏 (特別視機能研究所 所長)
- 講習2 「眼鏡店での屈折測定の後とその対策」  
日時 / 10月22日(月) 午後12時30分～午後2時(90分)  
講師 / 関真司氏 (キクチ眼鏡専門学校 校長)
- 講習3 「技術屋の自己満足はやめよう！」  
～今まで使っていた累進メガネの問題点を解決するにあたって～  
日時 / 10月22日(月) 午後2時30分～4時(90分)  
講師 / 鈴木綜太氏 (国立障害者リハビリテーション学院視覚障害学科 非常勤講師)
- 講習4 「短時間でファーストクラスの掛け心地を」  
～「横田流・時短フィッティング術」で1人目標10分以内～  
日時 / 10月23日(火) 午前10時～午後1時15分(3時間15分)  
講師 / 横田進氏 (株)さいたま眼鏡技術研究所 代表取締役社長)
- 講習5 「今更聞けないフィッティングの基礎」  
～頭部の形状からフィッティング実技まで～  
日時 / 10月24日(水) 午前10時～午後1時15分(3時間15分)  
講師 / 吉野勝氏 (株)ヨシノ眼鏡店 代表取締役、日本眼鏡技術専門学校 副理事長・講師)
- 講習6 「『メガネ相談会』に求められる技術者の条件」  
～測定接客でお客様の悩みを解消し、更なる販売力アップを目指す手法～  
日時 / 10月24日(水) 午後1時45分～3時15分(90分)  
講師 / 内田豪氏 (めがね技術コンサルタント、東京眼鏡専門学校 非常勤講師)
- 講習7 「視力矯正の重要性について」  
～スポーツビジョンの基礎からロンドン五輪最新情報まで～  
日時 / 10月24日(水) 午後3時45分～5時15分(90分)  
講師 / 飯島隆氏 (株)東京メガネ スポーツビジョンセンター室長)
- 受講料・単位 ①受講時間3時間(1単位) / 1人7,000円 ((公社)日本眼鏡技術者協会会員)  
※教材費ほかを含む。10月17日以降の申込みは1人8,000円  
※会員外で認定講習会として受講の場合は、上記受講料に6,000円加算  
②受講時間90分(0.5単位) / 1人4,000円 ((公社)日本眼鏡技術者協会会員)  
※教材費ほかを含む。10月17日以降の申込みは1人5,000円  
※会員外で認定講習会として受講の場合は、上記受講料に2,500円加算
- 申込方法 同封の「IOFT招待状」をご覧ください

# 認定講習会のお知らせ②

## 日本眼鏡学会 主催「第16回オープンセミナー」

IOFT 会期中に開催される日本眼鏡学会のオープンセミナーで、全セミナー受講で 1 単位となります。16 ページのお申込用紙でお申し込みください。

■開催日時 2012 年 10 月 23 日(火) 午後 1 時 30 分～午後 5 時 10 分

■開催日時 T F Tビル906 (東京都江東区有明 3-1 T F Tビル東館 9 F)

■メインテーマ 「眼鏡士に期待される社会的活動」

■内 容 ●テーマ「諸外国に於ける眼鏡士のプロフィール」

午後 1 時 35 分～2 時 25 分 (50 分)

金井昭雄氏 / APCO 会長、(株)富士メガネ 代表取締役会長

●テーマ「眼鏡技術者資格制度 その後の動き」

午後 2 時 30 分～3 時 20 分 (50 分)

岡本育三氏 / 東京眼鏡専門学校 理事長

●テーマ「眼鏡 DB2012 消費者アンケートにみる眼鏡士に対する認識」

午後 3 時 30 分～4 時 10 分 (40 分)

美濃部隆氏 / 眼鏡光学出版(株) 代表取締役

●テーマ「医療関係からみた眼鏡士への期待」

午後 4 時 15 分～5 時 05 分 (50 分)

魚里 博氏 / 北里大学医療衛生学部 教授

■単 位 1 単位

■受講料 一般受講者 5,000 円 (当日受付にてお支払いください)

※日本眼鏡学会会員は無料 (正会員 1 名、賛助会員 3 名まで)

■申込方法 16 ページの申込書に必要事項を記入の上、日本眼鏡学会事務局あてに FAX してください。折り返し、受講ハガキをお送りしますので、当日ご持参ください

また、専用サイト (<http://www.jaocs.com/>) から直接申し込みできます

■受講証 申込書の受講証発行の項目に○を付けてください。セミナー終了後にお渡します

■申込締切 2012 年 10 月 18 日(木)

①  
②  
以外の  
認定  
講習  
会

IOFT 開催時期以外にも認定講習会は開催予定です。詳細は、教育特集号に掲載していますのでご参照ください。

また、時間や交通の便などで講習会会場へ足を運べない方のために、通信講座があります。お申し込みは、教育特集号に同封している申込用紙にご記入の上、受講料を添えて現金書留で事務局までお送りください。なお、すでに受講した年度の生涯教育は受講されても回数にカウントされませんのでご注意ください。

ご不明な点は、事務局 (☎ 06-4807-5070) までお問い合わせください。

(日本眼鏡学会事務局：FAX 03-5818-1870)

年 月 日

日本眼鏡学会御中

日本眼鏡学会主催  
第16回オープンセミナー受講申込書(一般用)

2012年10月23日のオープンセミナーを受講したく、下記の通り申し込みます。

貴社(店)名： \_\_\_\_\_

受講者名： \_\_\_\_\_

ハガキ送付先ご住所：〒 \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

(公社)日本眼鏡技術者協会の認定講習として受講される方は以下もご記入ください

● (公社)日本眼鏡技術者協会会員番号 No. \_\_\_\_\_

または

● 認定眼鏡士登録番号 No. \_\_\_\_\_

※この用紙にご記入後、10月18日(木)までにFAXで日本眼鏡学会事務局までお申し込みください。

複数参加の場合は、お手数でもコピーしていただき、それぞれお申し込みください。

折り返し、受講ハガキをご返送しますので、セミナー当日にご持参ください。